

# ちば港を知ろう！2017 ～海と日本プロジェクト～

【事業実施報告書】

平成29年8月8日～11日・28日



## 実施概要

- 事業内容 : 昨年に引き続き、市民や県民の皆さんに千葉港及び海を身近なものとして感じてもらう目的で本イベントを開催いたしました。普段は入る事のできない港湾施設や練習船「大成丸」をはじめとする様々な働く船を見学することにより、千葉港の役割や港運について学んでいただきました。また、体験乗船を通して海の魅力を体感・実感してもらい、将来を担う子ども達にその大切さや重要性について認識を深めてもらいました。
  
- 日 程 : 平成29年8月8日、10日、11日、28日
  
- 開催場所 : 千葉中央埠頭 I バース、旅客船ターミナル等複合施設(ケースハーバー)
  
- 参加人数 : 約1,800名
  
- 主 催 : 千葉市、関東海事広報協会千葉支部、関東運輸局千葉運輸支局、関東地方整備局千葉港湾事務所、千葉海上保安部、千葉商工会議所、千葉港運協会、千葉エーゼント会、(公社)海上保安協会千葉支部、千葉港港湾運送事業協同組合、(一財)千葉港湾福利厚生協会、千葉港振興協会
  
- 告知方法 : ちば市政だより、千葉市ホームページ  
ポスター・チラシ配布(千葉市教育委員会・習志野市教育委員会・船橋市教育委員会・市川市教育委員会・市原市教育委員会・袖ヶ浦市教育委員会・千葉市・習志野市広報課・船橋市商工振興課・市川市企画部広報課・市原市広報課・袖ヶ浦支秘書広報課・千葉ポートタワー管理事務所・千葉ポートパーク管理事務所・千葉ポートサービス・船員待合所・千葉港振興協会・千葉県千葉港湾事務所、市原支所、袖ヶ浦支所・千葉市海辺活性化推進課・市原市観光振興課・袖ヶ浦支土木管理課・千葉商工会議所・千葉日報社・千葉市貿易振興会・千葉港港湾運送事業共同組合・公益財団法人海上保安協会千葉支部・横浜税関千葉税関支署・千葉海上保安部・国土交通省関東地方整備局千葉港湾事務所・公益社団法人千葉市観光協会・千葉エーゼント会・千葉市商店街連合会・千葉曳船協会・ニューポート産業・千葉運輸支局・千葉港運協会・千葉港運協会葛南事務所・湾岸食堂・千葉港まつり実行委員会・千葉県立中央博物館・千葉県県土整備部港湾課)
  
- メディア掲出 : 千葉テレビ放送、千葉日報社、J-COM、日本経済新聞、読売新聞
  
- 参加者の声 : アンケート調査結果(別紙)

## イベント内容

### ▽▲練習船「大成丸」 歓迎セレモニー▲▽

平成29年8月8日（火）

※当初予定されていた歓迎セレモニーは台風接近のため中止となりました。

### ▽ ▲海洋教室新聞づくり講習会▲▽

平成29年8月10日（木） 9：30～15：30

参加者：合計40名（大人16名・子ども24名）

小中学生と保護者を対象に汽船練習船「大成丸」にて（公財）日本海事広報協会のご協力のもと、船や港をテーマにした新聞を募集し表彰する新聞コンクール「ジュニア・ SHIPPING・ジャーナリスト賞」の一環として、海洋教室新聞づくり講習会を開催しました。海洋教室ではクルーの案内で船内各部を見学。実習船橋では操船シュミレーターを体験したり、機関室ではメインエンジンを起動させてもらい、参加者はその熱気や大きな音に驚いていました。午後からは新聞づくり講習会となり、全国新聞教育研究協議会の先生から、新聞づくりのテクニックについて教えていただきました。また（株）商船三井で一等航海士として働く方々に子どもジャーナリストとして取材をし、リアルな体験談に耳を傾け、記事を作っていました。今回のイベントを通し保護者からは、子どもの職業観を深めたいへん良い機会だったという声が聞かれました。



### ▽ ▲清掃兼油回収船「べいくりん」見学会▲ ▽

平成29年8月10日（木） 13：00～15：00

参加者：約150名

国土交通省 関東地方整備局 千葉港湾事務所 所有の清掃兼油回収船「べいくりん」の一般公開を、旅客船ターミナル等複合施設「ケースハーバー」の栈橋にて開催しました。また、複合施設の休憩スペースで海洋環境整備事業の説明パネル及び「べいくりん」模型展示と、横浜税関千葉税関支署のご協力の元、密輸入品等の展示を行いました。「べいくりん」がケースハーバーに着船したのは初めてで、大勢の方が船内見学に参加されました。甲板には東京湾で回収された様々なゴミが展示され、中には大型家電などもあり東京湾での船の安全な航行のため活躍している事が分かりました。船内では、操舵室で船について熱心に聞き入る様子や、大きなスキッパー（ゴミ回収装置で金属製のカゴ）が動く姿を見て驚く様子などが見られました。展示ブースにおいては、ゴミ回収の方法について模型・パネルで説明し、海洋環境整備事業について理解を深めて頂きました。また密輸入品の展示コーナーでは、ワシントン条約により国際取引が禁止されている本物のオオカミの毛皮に、参加者は目を見張っていました。



### ▽ ▲海上保安庁を知ろう！▲▽

平成29年8月11日（金）9：30 ・ 13：30（各々2時間程度）  
参加者：合計74名（午前40名・午後34名）

小中学生とその保護者、ペア40組を対象に海上保安業務の勉強会と巡視艇たかたきの船内見学を実施しました。集まった親子は初めて参加する海上保安庁のイベントに若干緊張気味の面持ちでしたが、イベント冒頭に行われた千葉海上保安部長からの挨拶「今日は楽しんでください」の一言により、表情が和らいでおりました。海上保安業務説明会では、管理課渉外係長が小学生から中学生まで幅広い年齢層が理解しやすいよう言葉を選びながら説明し、さらに、参加者が飽きないよう具体的な事例を途中織り交ぜ、その真摯な説明に参加者は熱心に聞き入っており、最後の質疑応答の際には、たくさんの質問が飛び出しました。また、巡視艇たかたきの見学では参加者が歓声を上げており、そんな子供達の笑顔に持ち前のサービス精神が刺激されたのか、船内のあちこちでたかたきの若手職員による説明が行われ、参加者は皆、その話に興味深げに聞き入っておりました。最後に行ったアンケートでの回答は、「職員の説明から熱意が感じられた。また、是非参加したい。」という意見が多く見受けられ、大変好評でした。



### ▽ ▲冷凍倉庫とコンテナターミナルの施設見学▲▽

平成29年8月11日（金） 9：30～11：30  
参加者：合計49名（大人24名・子ども25名）

冷凍倉庫の見学とコンテナターミナルの施設見学を通して、物流システムを学びながら港湾の重要性を学ぶイベントを行いました。千葉ポートタワーのロビーをお借りして、受付スタート。お暑い中、みなさん手に手に厚手の防寒着を持ってお集まり頂きました。まず参加者はバスの中で担当者の話を聞きながら、海上輸送と陸上輸送を結ぶ拠点であるコンテナターミナルを見学しました。巨大なガントリークレーンやコンテナなどみた参加者はその大きさに驚きの声をあげていました。冷凍倉庫内の見学では昨年に引き続きニューポート産業様のご協力のもと、若手職員による実験が行われました。子どもたちは身を乗り出して実験の様子を見たり、はしで持ち上げられたまま凍ったカップ麺に興味津々の様子でした。倉庫の外にはフォークリフトが並べられ、触れたり、乗車して写真を撮るなどして、参加者は思い思いに楽しんでいました。物流システムを身近に感じることで、港湾に関して興味をもてただけたようでした。



### ▽ ▲観光船「あるめりあ」による港内見学会▲▽

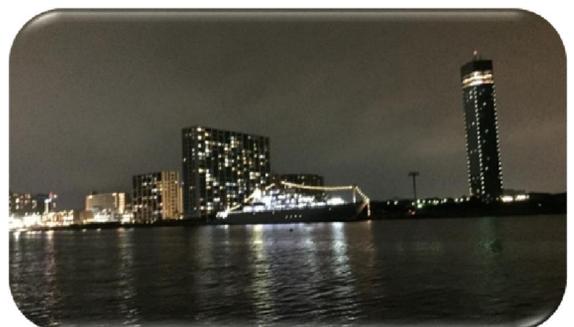
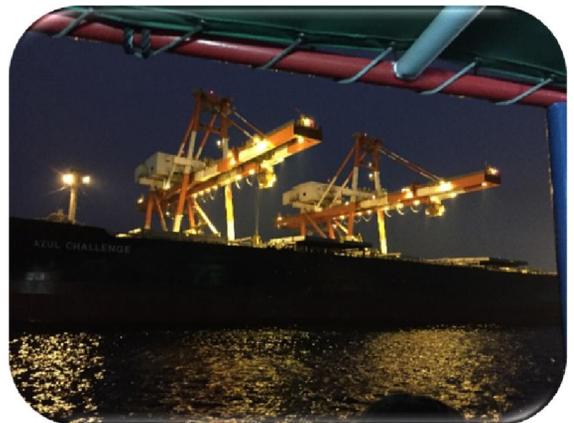
平成29年8月10日（木） 14：30 ・ 18：30

8月11日（金） 15：30 ・ 18：30

8月12日（土） 10：00 ・ 14：30

参加者：合計793名（大人379名・子ども414名）

毎回大人気のイベント、観光船「あるめりあ」による千葉港内見学会を開催しました。乗船場所は昨年オープンした旅客船ターミナル等複合施設「ケースハーバー」です。受付を済ませた参加者は待合コーナーから見える高さ8.5m、壁一面の巨大な水槽で泳ぐ魚やウミガメを見たり、お土産物屋などを探索していました。初めてケースハーバーに来た方も多く、千葉みなと駅方面から続く赤いタイルの道とウッドデッキ、港湾緑地と以前とだいぶ様変わりした千葉港に驚いているようでした。航行中の船内では、ガイド役のポートクイーン千葉が千葉港の説明を行いました。また、観光船の脇をカモメが併走してくるので、子どもたちは手を伸ばしてエサをあげるなど、夏休みの1日を楽しんでいる様子でした。さらに6便の運航のうち2便で工場夜景クルーズを行いました。10日11日の工場夜景クルーズでは、練習船「大成丸」のライトアップも海上から見る事が出来き、参加者は千葉港の幻想的な夜景を堪能していました。



### ▽ ▲練習船「大成丸」 一般公開▲ ▽

平成29年8月11日（金） 9：00～11：30  
13：30～16：00

参加者：合計538名（大人365名・子ども173名）

独立行政法人海技教育機構 所有の汽船練習船「大成丸四世」は平成26年4月に竣工されました。国内海上輸送を担う優秀な新人船員を育成するための内航練習船です。一般公開当日は朝からあいにくの雨で、午前中の見学者は120名ほどと少なかったですが、お昼ごろからは雨もあがり最終的には昨年と同程度の見学者数となりました。船内では順路に沿って、公的な応接室である船長公室や食堂、教室、6人部屋の実習生居室などを見学していただきました。階段ホールには大成丸三世から移設した初代大成丸の木甲板が飾られ、大成丸の歴史の重みを感じさせます。船内には実習生が案内役にたち、見学者からの質問に笑顔で答えていました。実習生の挨拶が礼儀正しく、大変気持ちよく見学が出来たと多くのお声を頂きました。岸壁のテントでは練習船カレーも販売しました。ご家族のお土産にと買っていかれる方が多く、ご家庭で大成丸の話題とともに夏休みの思い出になればと思いました。



## ▽ ▲帆船「みらいへ」体験航海▲ ▽

平成29年8月28日（月） 9：30 ・ 13：30（各々2.5時間程度）  
参加者：合計112名（大人54名・子ども58名）

一般社団法人グローバル人材育成推進機構 所有の日本で唯一、一般の方が乗船できる帆船「みらいへ」の体験航海を行いました。多彩なアクティビティを通じ、多様な視点で海や自然と親しみ、未知なる世界を体感していただくこのイベントは事前応募倍率約5倍という人気でした。千葉港初入港という事で、ポートクーン千葉が記念の盾と花束を贈呈しました。船内ではグループに分かれ、バウスプリット渡り(安全帯を着用し船の先端までの往復体験)、ロープワーク教室、操舵体験などが行われました。操舵体験では実際に舵を握らせてもらうことができ、子どもたちは真剣な表情でクルーの言葉に耳を傾けていました。また、メインマストの帆と船首側の帆をひろげる体験では、大きな掛け声をかけながら参加者が協力してロープを引っ張りました。子どもたち同士、仲良くなっている姿も見られ協力してプログラムを行っていく中で連帯感が芽生えたようです。2時間30分という短い時間でしたが、充実したプログラムで貴重な体験ができました。

